

平成18年(2006年)8月31日

ドトール コーヒー社長様

日本禁煙学会  
理事長 作田学  
181-8611 三鷹市新川 6-2-20  
杏林大学神経内科教授室内  
E-mail desk@nosmoke55.jp  
FAX 0422-47-5931  
URL : <http://www.nosmoke55.jp/>

## コーヒー店は完全禁煙にすることが営業上得策です。

1. Yahoo リサーチが行った調査によりますと、全席禁煙が不足度および不足者比率ともに高いという結果です。つまり、全席禁煙のコーヒーショップを開けば、大繁盛するでしょう。

[http://www.intage-interactive.co.jp/datalibrary/pdf/dl\\_distribution\\_01.pdf](http://www.intage-interactive.co.jp/datalibrary/pdf/dl_distribution_01.pdf)

たとえば札幌の三越前の店は大いに流行っております。

2. スターバックスなど一部の店で行われている店外を喫煙席にするという方法は、入り口で受動喫煙を浴びるために、危険な方法と言わざるを得ません。無風の状態で一人が喫煙した場合、半径7mにまで受動

喫煙が及ぶからです。

3. 最近アメリカの公衆衛生長官から受動喫煙に関する報告書が出ました。

<http://www.surgeongeneral.gov/library/secondhandsmoke/>

1. 受動喫煙は、タバコを吸わない子どもと大人の生命と健康を奪う。
2. 受動喫煙は、乳幼児突然死症候群、急性呼吸器感染症、耳の病気、重症気管支喘息のリスクを高める。親の喫煙は、子どもの呼吸器症状を増やし、肺の成長を遅らせる。
3. 大人が受動喫煙に暴露されると、ただちに心臓血管システムに悪影響があらわれる。また虚血性心疾患と肺ガンがおきやすくなる。
4. 受動喫煙に安全無害なレベルのないことが科学的に証明されている。
5. タバコ対策が相当進んだにもかかわらず、アメリカの数千万人の子どもと大人が、家庭や職場でいまだに受動喫煙にさらされている。
6. 屋内における喫煙の禁止により非喫煙者の受動喫煙暴露を完全になくすることができる。分煙、空気清浄機、エアコンディショニングによって非喫煙者の受動喫煙を防ぐことはできない。

この受動喫煙を防ぐのは国民健康法 25 条により、各店の責任者の義務となっております。

このところをよく鑑み、良い方向へ進まれることを期待しております。